

研究機関名	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所				
プログラム名	奈良の都の木簡に会いに行こう！2020				
先生(代表者)	馬場基(ばばはじめ)・都城発掘調査部・室長				
自己紹介	20年間、奈良の都の発掘調査や、発掘調査で見つかる1300年前の木簡(墨で文字が書かれた木の札)の整理や解読をしています。最近は、「世界の様々な木簡」の魅力や、「文字を書くてなんだろう」という疑問にハマってしまい、海外と共同研究や、コンピュータでの研究などにも挑戦しています。				
開催日時・募集対象	2020年8月12日(水)	受講	ともに	募集	10名
	2020年8月13日(木)	対象者	小学5・6年生	人数	10名
	2020年8月14日(金)		中学1～3年生		10名
集合場所・時間	平城宮跡資料館受付		(集合時間)	9:30	
開催会場	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 平城宮跡資料館 住所: 〒630-8577 奈良市二条町2-9-1 アクセスマップ URL: <a href="https://www.nabunken.go.jp/japanese/access.html">https://www.nabunken.go.jp/japanese/access.html</a>				
内 容					
<p>大昔、日本には文字はありませんでした。いろいろな進んだ文化や技術のひとつとして、文字(漢字)も日本列島に伝わります。日本列島の人びとは、伝わった漢字をまなび、さらに自分たちが使いやすいように工夫を重ねます。こうしたなかで、ひらがなやカタカナが生み出されました。いま皆さんが普通に使っている言葉の書き方は、昔の人びとの多くの工夫と努力の結晶です。</p> <p>そして木簡には、日本列島の人々が、初めて本格的に文字文化を学んで日本語を書き表そうとしたときの、いろいろな工夫がひそんでいます。</p> <p>受講生の皆さんには、本物の古代木簡の整理・調査作業の体験を通じて、日本列島に文字文化がもたらされ、使われるようになって、さらに日本独自の文字の文化へと発展していく躍動感あふれる息吹を、感じて欲しいと考えています。</p> <p>木簡は、教科書にも登場する重要な資料です。しかし、実物を実際に見る機会は少ない状況です。そこで、皆さんに木簡の実物での作業や観察を通して、歴史や考古学の面白さ、現代に至る文字文化の連続性を実感してもらおうと考え企画しました。</p>					
 昔の人びとが練習した文字					
持ち物			特記事項		
筆記用具、タオル、帽子、飲物、マスクなど			<p>一般事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、水を使う作業があります。動きやすく、ぬれたり汚れたりしてもよい服装で参加してください。</li> <li>2、プログラムは室内で実施しますが、作業や建物間の移動がありますので、暑さ対策もお願いします。</li> <li>3、食物アレルギーのある方は事前にお知らせください。</li> <li>4、実施にあたり、機関で加入している保険に加入します。</li> </ol>		

	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、感染拡大の状況により、感染拡大地域からの参加等についてご相談をする場合があります。</li> <li>2、以下の参加者・保護者の方につきましては、ご参加をお控えいただきますようお願いいたします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>発熱や咳、くしゃみ、鼻水などの風邪の症状がある方。</li> <li>体調がすぐれない方。</li> <li>過去2週間以内に発熱や風邪の症状等で受診や服薬等をされた方。</li> <li>感染拡大している地域や国への渡航歴が14日以内にある方。</li> </ul> </li> <li>3、当日朝に検温をして来てください。受付時に37.5度以上の発熱が確認された場合は、ご参加をお控えいただきます。</li> <li>4、参加者・保護者の方は必ずマスクを着用し、お互い距離をとるよう心掛けてください。</li> <li>5、万が一、感染が発生した場合には保健所等の聞き取り調査にご協力いただきますよう、お願いします。</li> </ol>
--	---

**スケジュール**

【小学生】12日(水)・13日(木) / 【中学生】14日(金)とも同一日程	
9:30 - 9:45	受付(集合場所:平城宮跡資料館受付)
9:45 - 10:00	開講式(挨拶・オリエンテーション、科研費の説明)
10:00 - 10:15	講義 :木簡ってなに
10:15 - 10:45	実習 :木簡に出会おう まずは、「木簡」をみてみましょう
10:45 - 11:00	小休憩
11:00 - 11:30	実習 :木簡を読んでみよう 木簡の解読に挑戦 木簡の「文字」を読んでみましょう
11:30 - 12:00	見学:木簡の倉庫と資料館で、いろんな木簡をみて保存方法を学ぼう
12:00 - 12:10	講義 :復元された古代食に使われた食材の木簡について
12:10 - 12:50	昼食(奈良パークホテルの協力で復元された古代食を含む弁当を提供)
12:50 - 14:10	実習 :木簡を見つけよう 木簡を含む遺物の洗浄・選別を体験 実際に泥の中に潜む木簡の破片を探し出してみよう 泥の中のいろいろな遺物を選別してみよう
14:10 - 15:00	実習 :木簡を作ってみよう 木に字を書いて誰かに伝える
15:00 - 15:20	クッキータイム
15:20 - 15:50	講義 デジタル技術で木簡を研究
15:50 - 16:10	修了式(アンケートの実施、未来博士号の授与)
16:10	終了・解散

課題番号	20HT0188	分野	人文・歴史	キーワード	日本史、考古学、文字、漢字、木簡、平城宮
------	----------	----	-------	-------	----------------------

## 《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	連携推進課経営戦略係・大橋 由起子（おおはし ゆきこ）
住所	〒630-8577 奈良市二条町二丁目9番1号
TEL 番号	0742-30-6716
FAX 番号	0742-30-6750
E-mail	ohashi-y73@nich.go.jp
申込締切日	2020年7月26日（日）
<p>当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行います。抽選結果は7月27日（月）までに郵便（またはメール）にて全員にご連絡します。</p>	

## 《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2018年度 ~ 2022年度	基盤研究(S)	18H05221	木簡等の研究資源オープンデータ化を通じた参加誘発型研究スキーム確立による知の展開
2014年度 ~ 2017年度	基盤研究(A)（一般）	26244041	歴史的文字に関する経験知の共有資源化と多角的分析のための人文・情報学融合研究



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000070332195>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。